

令和 6 年度  
事業計画書

公益財団法人滋賀県希望が丘文化公園

令和6年度は、第4期指定管理期間6年間の最終年度であり重要な年となる。この6年度には県において検討されている希望が丘文化公園の活性化方針が策定される予定となっており、その先7年度以降の公園の管理運営のあり方については検討中ということもあって、今後の希望が丘文化公園や現指定管理者である当財団は過渡期を迎えることとなる。

従って、いかなる将来の展開にも長年の経験と実績を基に、理念を追求し使命を果たしていくことに変わりはなく、当初提出した「第4期指定管理提案書」に基づいた経営目標の達成や提案事項の遂行に留意し、安心・安全・快適な管理運営と魅力的な事業の推進に邁進する。

昨年5月の新型コロナ「5類」移行に伴い、来園者や施設利用者が徐々に戻りつつ回復傾向の流れを受けて、これまでの取り組みの実績や成果を十分に点検・検証しつつ、恵まれた公園の自然環境や資源を活かして、原点に立ち返った事業の見直しや新規事業に取り組み、県内はもとより全国に向けて希望が丘の魅力の発信に注力する。

開園53年目となる公園内には経年劣化による施設・設備の損傷、山林区域や芝生地などの保護・保全にかかる修繕や改善の必要箇所が後を絶たない。施設の修繕や老朽化対策はもとより、416haを有する広大な公園内の道路、河川、自転車道、ハイキング道、森林、芝生、草地などの公園管理には安心・安全の確保に細心の留意を払っていく。

また、当財団が設置した「財団のあり方調査検討ワーキンググループ」に代えて、財団独自の活性化策の具体的な推進を目的とした「公園活性化先取り事業推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、公園の魅力アップと県民サービスの向上に繋げるとともに、県との情報交換を積極的に行っていく。

運営においては「連携」の視点を重視し、これまで培ってきた様々な主体との連携を一層進めるとともに、地元市町、県内企業、団体、各施設との共同発信等にも取り組んでいく他、年末の5日間、駐車場を無料にして、体験プログラムの推進や身体を動かす機会を提供する。

事業では、トップセールスなどプロモーション活動を展開する他、昨年新規に取り組んだ春と秋の「希望が丘魅力発信事業」や「希望が丘書道展」を継続開催するとともに、新規には、文化ゾーン活性化の取り組みとして砂場や落ち葉プールの設置をはじめ、森の資源を活用した造形物を展示する「森のメッセージ」をはじめ、引きこもりの人へのサポート事業として「リトリートキャンプ」に挑戦するほかハンドメイドの楽しさを広めるフェスティバルを計画する。

さらに、子どもから高齢者までが様々な体験やレクリエーション活動などを通して、交流交歓が深められる機会や四季折々の公園の魅力を感じていただける場面を“お祭りイベント”として提供する他、誰もが気軽に楽しみながら健康づくりに取り組める“各種スポーツ大会”をはじめ、集団宿泊体験やキャンプ活動を通して、自然に触れ、自然を愛し、自然に学びながら、たくましく生きる力を育む“きぼっこ体験事業”として9事業に取り組む。特に、「わんぱくキャンプ」については、4年ぶりに本来の6泊7日の日程で開催するなど事業に創意工夫や改善を加えて、事業参加者増と満足度の向上につなげていく。

なお、7年度に開催される「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」の開催に向けては、ラグビーフットボール競技の会場が当公園となるため、施設の維持管理に万全を期し、積極的な広報を行うとともに、県と綿密な連携を図りながら、財団挙げて大会の成功に向けた役割を果たす。

## 【希望が丘文化公園の運営】

### 1 基本方針

#### (1) 自然と人との共生

希少植生物の保護や荒廃が進む森林の保全に的確に対応するなど、豊かな自然を保護、活用し、多くの来園者が自然の恵みを享受することによって、逞しい人間力と豊かな人間文化力を育む公園として、100年後も栄える滋賀のもりづくりに貢献する。

#### (2) 教育的機能の発揮

スポーツ、宿泊、野外活動、その他の施設を活用して、あらゆる年代の人々の共同宿泊活動や野外活動、スポーツ活動を促進し、これらの活動から得られる社会性や創造性など望ましい人間性を高めることにより、世代に応じた人間力と人間文化力の向上を図る公園として、

100年後も栄える滋賀のひとつづくりに貢献する。

### (3) ふれあい公園の創出

来園者の誰もが憩い、楽しみ、交流・交歓できる景観の創出や行事の実施など、“ふれあいの場”を提供することによって、家族が、友達が、知る人も知らない人もともに声をかけ、あいさつを交わし、笑顔が溢れる豊かな人間性を育てる公園として、100年後も栄える滋賀の活力づくりに貢献する。

### (4) 納得の管理運営

公園設置52年の歴史を活かし、来園者はもとより公園設置者、公園管理者も自信と誇りの持てる納得の管理運営を確保し、大切な県民の財産として100年後も誇れる管理運営を行う。

### (5) 来園者を優しく見守る管理運営

公園設置52年の継続した管理運営の実績を活かして、常にお客様の立場に立った安全性や利便性を追求し、お客様の全てを優しく見守る公園として、管理運営を行う。

## 2 経営目標

### (1) 管理運営目標

#### ア 自主財源率の目標

自主財源率：

令和4年度実績 31.8% → 令和5年度見込 29.8% → 令和6年度目標 31.2%

#### <実現策(新規・見直し)>

(ア) わんぱくキャンプは、新たに文部科学省の体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクトに、なでしこサッカー大会では継続してスポーツ振興基金助成等の申請を行い補助金を確保する。

(イ) コロナ禍前のように制約のない利用が適うようになったことから、新規、リピーターに限らず、懇切丁寧な利用者対応や公園の魅力をしっかり伝えることにより利用を促し、施設利用料金の増収を図る。

#### <実現策(継続)>

(ウ) 社会教育、自然環境保全、野外活動およびスポーツ等の一連の取り組みが拡充できるように、「希望が丘みらい基金」や各種助成金・協賛金、広告料等の獲得により、企業、各種団体、さらには事業参加者などへ積極的に協力・支援を働きかける。

(エ) 3月から9月末までの月曜日(祝日の場合はその翌日)は、すべて開園する。なお、10月から2月末までの月曜日は休園日とするが、利用の申し出があれば積極的に受け入れて部分開園の措置を講じる。

(オ) 来園者数、施設利用者数および事業参加者数を増やすため、それぞれの目標に向けた実現策に、各担当ごとに果敢に取り組み、利用料金収入の増収を図る。

(カ) 安心・安全を第一に考え「効率的かつ効果的な業務は外部に委ねる」ことを基本として、利用者サービスの向上とコスト削減を図る。併せて、職員の技術・経験を活かした直営修繕によって即応性を高め、経費削減を徹底的に行う。

(キ) 持続的な環境負荷低減活動を推進し、省資源化および省エネルギー化により、経費の削減を図るとともに、自然や環境に配慮した事業やサービスの提供に努める。

#### イ 施設の来園者数の目標

来園者数：

令和4年度実績 857,965人 → 令和5年度見込 900,000人 → 令和6年度目標 930,000人

#### <実現策(新規・見直し)>

(ア) 年末の週5日間(12月24日から28日まで)は東・西・南の全駐車場の利用料金を無料とし、公園を身近に感じていただける期間とする。併せて、その期間に青年の城ではクラフトやディスクゴルフ体験などにチャレンジ、スポーツゾーンではフィールドアスレチック

クとグラウンド・ゴルフの割引体験を提供する。全園ではサイクリング利用が無料であり、自然散策やハイキング、ジョギングにも気軽に楽しめるように呼びかける。

- (イ) 年間において開催する「お祭りイベント」において、各種団体や関係機関との連携協働を拡大し、子どもから高齢者まで幅広く集客できる各種多彩なプログラムを、広大なフィールドを最大限活用して展開し賑わいと来園者増を図る。
- (ウ) 森のメッセージと称し、文化ゾーン活性化の取り組む。多目的広場に砂場をつくり、秋には落ち葉プールの設置など、子どもたちがいつでも気軽に楽しめる場を提供する。また、森の中の素材を活用した造形物を募集し展示するなど、身近で親しみやすい公園づくりを進める。
- (エ) 新規事業の2年目として、春と秋の「希望が丘魅力発信事業」「希望が丘書道展」を継続開催し、文化ゾーンの賑わいと来園者増を図る。また、青年の城中ホールの展示スペースを広く県民の文化活動の発表や紹介の場に活用していただき、来園者の裾野を拡大していく。
- (オ) 財団が実施しているフィールドアスレチック事業について、自然とのふれあい、健康づくりの場となるよう、継続して12月から2月の第4土曜日を「希望が丘フィールドアスレチックふれあいサタデー」として1日間無料開放し来園者増を図る。

#### <実現策（継続）>

- (カ) 広報・営業活動の強化として、県内企業へのトップセールスや、県内外の学校団体、子ども会、スポーツ少年団への広報活動の拡大の他、びわ湖放送のCM放送やホームページの内容充実やSNSの活用、イベントガイドやパンフレットの効果的な配布など、営業活動の強化策を講じる。
- (キ) 様々な体験コーナーを通して家族の絆や仲間との交流を深める場を提供する「新緑祭」「ふれあい祭」等の大規模な祭事業の開催により年間を通して公園の賑わいを創出する。
- (ク) 3種類の植樹を行った桜の森をはじめとした多彩な花木で来園者の目を楽しませ、「憩いを感じる場」「自然を体験する場」としての機能を高め来園者増を図る。
- (ケ) 様々な駐車料金の回数券(1万円：普通車500円券1冊30枚綴り・5千円：普通車500円券1冊13枚綴り・2千円：普通車500円券1冊5枚綴り)を販売し、利用者のニーズに応えるとともに、駐車料金の割安感をアピールすることで利用者サービス・利用拡大に向けた取り組みを行う。
- (コ) マイクロバス2台体制で青年の城宿泊者のスポーツ施設やキャンプ施設との併用利用に対応する他、園内移動や輸送などの送迎サービスの充実を図り来園者および施設利用者の増を図る。

#### ウ 施設の利用者数の目標

施設利用者数：

令和4年度実績 197,440人 → 令和5年度見込 210,000人 → 令和6年度目標 246,000人

#### <実現策（新規・見直し）>

- (ア) 新たに照明設備が新設された球技場について、午後9時までの夜間利用が可能となったことから、サッカー、ラグビー等の利用促進を図る。
- (イ) 地元滋賀のびわ湖放送によるCM放送を継続して行い、公園各施設の魅力を広報・発信することから施設利用者の獲得に努める。

#### <実現策（継続）>

- (ウ) 青年の城では、コロナ禍の影響で密を回避するため、定員以下の利用を余儀なくされていたが、徐々に宿泊定員枠を有効に活用して利用拡大を図る。
- (エ) 10月から2月末までの月曜日を休園日とするが、休園日前日の宿泊を希望される場合には、翌朝の退園まで利用いただけるよう柔軟な対応を行う。
- (オ) 野外活動センターにおいては、家族やグループで利用しやすい持込テントのスペースを拡充し、利用しやすさをPRして利用促進に努める。

- (カ) キャンプ場への車両の乗り入れについては、持ち込みテントのスペース増大に伴い、可能な限り車両をサイト近くで駐車できるように配慮し、利便性の向上を図る。
- (キ) スポーツゾーンの開園時間は4月から9月末までの間、午後6時まで1時間延長する。
- (ク) スポーツ施設の利用は、要望があれば午前7時からの早朝利用、さらに照明設備のある体育室は、最終午後9時まで夜間延長利用にも対応する。
- (ケ) スポーツ会館体育室は、クッション性のある床に改修され、バスケットゴールが整備された。陸上競技場はトラックが新調され4種L(ライト)公認施設となった。また、人工芝化され、散水システムを有する球技場と併せ、利用促進のPRに努める。
- (コ) 新規利用者の開拓やリピーターの確保のため、利用状況や社会情勢の分析を随時行い、京阪神方面や中京圏の学校、団体等に公園PR、施設利用案内のDMを行う。

## エ 事業参加者数の目標

事業参加者数：

令和4年度実績 69,369人 → 令和5年度見込 87,900人 → 令和6年度目標 110,000人

### <実現策(新規・見直し)>

- (ア) 年間を通して開催する「お祭りイベント」において、各種団体や関係機関との連携協働を強化し、広大なフィールドを活用して、誰もが気軽に楽しめる各種多彩なプログラムを趣向を凝らして提供し、子どもから高齢者まで幅広く参加者をお迎えする。
- (イ) 県書道協会と連携して取り組んだ「希望が丘書道展」は、予想以上の参加者と鑑賞者があったことから、更なる関係団体(者)への広報・発信の取り組み強化を図りながら、新たな参加者の拡大を目指す。
- (ウ) 「総合魅力発信事業」としてSNSを駆使するとともに、地元2市1町で開催されるイベントや県内の関係する施設等に積極的に出向き、公園の体験プログラムの紹介や事業のPRを行い、事業参加者の拡大を図る。
- (エ) 参加定員を超えて申し込みをいただく事業については、安易に選外とはせず、安全対策を十分に考慮したうえで、可能な限り定員枠を拡大して受け入れられるように考慮する。

### <実現策(継続)>

- (オ) 「もみじのつどい」「ビワイチプラス応援イベント」開催時にレンタサイクルを無料にし、事業参加者増を図る。
- (カ) 家族や仲間と楽しく交流できる場として、多くの県民の皆様にご好評を博している「お祭りイベント」と同時開催している「交流ひろば(フリーマーケット)」では、キッチンカーによる食事コーナーを設け、参加者のニーズに応える。
- (キ) 受益者負担を原則とするが、できるだけ手頃な参加料金で県民ニーズの高い事業を企画するとともに、安全面や指導体制を万全に確保したうえで開催する。

## オ 施設利用者および事業参加者の満足度の目標

満足度：

令和4年度実績 97.2% → 令和5年度見込 95.0%以上 → 令和6年度目標 95.0%以上

### <実現策(新規・見直し)>

- (ア) 「公園サポーター」の制度は、登録者の活動実績を参考にして、更新者の確認を行い、制度の質の向上を図るとともに、新規に団体を対象にした「アクティブ団体制度」の導入を検討し、公園内での登録団体等の活動を促進する仕組みづくりを進める。

### <実現策(継続)>

- (イ) 施設利用者の意見、要望を把握するため、「ご利用者の声」箱を設置する。また、来園者および事業参加者ならびに施設利用者へのアンケート実施のほか、対話による意見収集などを集計・分析して、公園の管理運営に活用する。
- (ウ) 利用者ニーズの把握や施設運営への反映の取り組みについては、公園運営推進協議会や公園利用者懇話会のメンバーに内容を公開し、意見を伺う。

- (エ) 来園者からいただいたすべての意見・要望や対応については、公園内運営会議で課題を共有し、対応方法および業務改善策を協議・決定する。
- (オ) 利用者トラブルの未然防止のため、日頃から目配り、気配りを心がける。苦情が発生した時は、迅速に誠意を持って、真意を理解し、納得いただけるまで丁寧に対応する。また、改善策を検討し、再発防止に努める。

## (2) 管理運営の新たな視点と主な取り組み

- ア 52年が経ち経年劣化による施設・設備の損傷が多く見られる。また、森林の保護・保全にも改善の必要箇所が後を絶たない。416haを有する広大な公園内の安心・安全の確保のため、施設の老朽化対策や修繕対応には万全を期していく。
- イ 森林保護・保全の取り組みの一環として、近隣の企業、関係団体等と連携・協働しながら、森の下草刈りや間伐等を行い、景観の創出と里山機能の復活、生物多様性・希少種の保護・保全に取り組む。
- ウ 年末の週5日間を東・西・南の全駐車場の利用料金を無料にする。希望が丘を身近に感じていただける期間として、自然に親しみ、健康づくりに役立てていただく機会を提供する。
- エ 公園をまるごと楽しんでいただくための、園内移動のあり方が大きな課題となっている。そのため、施設利用者に限定した車両のみ、東ゲートから河原広場まで移動することができる試行運用を検討する。
- オ 駐車料金の徴収や普通車500円が高いという声が多くある。頂戴した駐車料金は広大な希望が丘の自然の保護保全や施設の維持管理に役立てられていることを丁寧に説明し理解を得ていく。
- カ 来園者および施設利用者の園内移動や荷物輸送などの送迎サービスが好評であることからマイクロバス2台による効率かつ効果的な運行計画により、青年の城宿泊者のスポーツ施設やキャンプ施設との併用利用促進や来園者の拡大を図る。
- キ 利用者ニーズを把握するため、「ご利用者の声」箱の設置、利用者や参加者へのアンケートに加え、対話を通して来園者の生の声を取り入れる。また、意見・要望やアンケート結果は、業務改善や公園管理に速やかに活かしつつ、PDCAサイクルによるサービス水準の確保向上に努める。
- ク 環境負荷低減やCO<sub>2</sub>・ゴミ排出量削減、環境教育等に努め、快適な公園づくりに取り組む。また、廃棄物「ゼロ」を目的とした、ゼロエミッションの考え方を森林整備に導入し、廃材や間伐材の活用に努める。
- ケ 日常・定期的な安全点検に加え、利用シーズン前、豪雨、台風、降雪後等においては、より一層慎重な点検を実施する。また、警報等の発令によっては臨時に休園措置を講ずるほか、利用者の安全確保・事故防止に万全を期すとともに、職員の危機管理意識・能力の向上を図る。
- コ 管理運営や事業推進において、随時職員から工夫・改善、新たな取組などの提案の受け皿を設け、実現可能かつ有効なものは積極的に業務に活用していく。
- サ スポーツ施設の利用料金徴収において、予約の取消し分を誤って徴収していた事案を受け、内部諸規程等の見直しをはじめ、新たに園内モニタリングの実施や職員研修の定期開催など、徴収事務のみならず、すべての業務において適正な事務処理の徹底に努めます。

## (3) 事業推進の新たな視点と主な取り組み

- ア 国立青少年教育振興機構では、「体験の風をおこそう推進事業」として子どもたちが安心して参加できる事業を全国に発信している。今年度は対象事業を登録し、子どもたちの外遊びを促し、希望が丘に体験の風を年間通して吹かせる。
- イ 文化ゾーン活性化の取り組みとして「森のメッセージ」と称し、ゾーン内に砂場をつくり、秋には落ち葉プールの設置など、子どもたちが楽しめる場づくりを行う他、ディスクゴルフコースを現在の9ホールから倍の18ホールに拡大したり、森の中の素材を活用した造形物を広く募集して園内に展示するなど、東入口の親しみやすい公園づくりに努める。また、青

- 年の城中ホールの展示スペースを県民の文化活動の発表や紹介の場に活用していただく。
- ウ 駐車場利用料金を無料とする年末の期間を活用し、青年の城ではクラフトやディスクゴルフ体験などにチャレンジ、スポーツゾーンではフィールドアスレチックやグラウンド・ゴルフ体験をお得な価格で提供する他、全園では自然散策やハイキング、ジョギングにサイクリングを楽しんでいただける年末企画を打ち出す。
  - エ 次代を担う子どもたちに「きぼっこ体験事業」を通じて、豊かな人間性、創造性を育む取り組みを継続して実施するほか、未就学児や小学低学年からの自然体験活動に注力するとともに、広く楽しみながら自然に親しみ、学ぶ場を提供する。特に、「わんぱくキャンプ」については、4年ぶりに本来の6泊7日の日程で計画し、リアルな体験活動を重視する。
  - オ 引きこもり状態に陥るのは自己責任ではなく、社会全体で取り組む課題として捉えることから、引きこもりの人へのサポート事業「リトリートキャンプ」を関係団体(者)と連携・協働して挑戦する。
  - カ 子どもから高齢者までの世代をつなぎ、四季折々に公園を訪れるきっかけとなる「お祭りイベント」は関係する各種団体等との連携により、多彩なプログラムを展開し広く県民に交流・憩いの場を提供する。
  - キ あらゆる年代の方々がスポーツに気軽に親しみ、楽しみながら健康づくりに役立つ取り組みやスポーツの楽しさを感じながら仲間との交流を深める大会など、関係機関、地元市町や各種団体と連携しながらスポーツ・健康づくりを推進する。
  - ク 「発信」をキーワードとし、事業開催の広報のみならず、事業実施後の事業成果まで、しっかり発信することにより、希望が丘の魅力や当財団の役割を広く周知されるよう取り組む。
  - ケ 「公園サポーター」の制度の見直しにより、登録者の活動実績を参考にして、登録者の数より質の向上を重視するとともに、新規に団体を対象にした「アクティブ団体制度」の導入を検討し、公園内での登録団体等の活動を促進する仕組みづくりを進める。
  - コ キャンプリーダーは、新規募集から養成講習、研修、実践を計画的に行い、人材育成と事業参画の機会を拡充する。また、地元中学校の職場体験学習や県内大学とのインターンシップについては、それぞれの意向を汲んで積極的に受け入れていく。

### 3 事業内容

別紙のとおり

■ 令和6年度 事業内容

| 番号 | 事業名                                | 事業内容   | 開催予定日                 | 参加費          |
|----|------------------------------------|--|-----------------------|--------------|
| 1  | 春の希望が丘魅力発信事業<br>「GWキッズわくわくランド」     | 文化ゾーンを中心に多数の体験プログラムコーナーを設け、地元子どもたちの催し物など各種団体等と連携しながら、自然体験活動と交流・交歓を促進するとともに春の希望が丘の魅力を発信する。キッチンカーの出店も行う。 | 4月<br>年間1回            | 500円以下       |
| 2  | 希望が丘新緑祭                            | 新緑の時に、公園を訪れるきっかけとなるアトラクションを実施してにぎわいを創出し、当公園のPRを図るとともに認知度を高める。  | 5月<br>年間1回            | 500円以下       |
| 3  | もみじのつどい                            | 紅葉の時に、公園を訪れるきっかけとなるイベントを実施してにぎわいを創出し、当公園のPRを図るとともに認知度を高める。   | 11月<br>年間1回           | 500円以下       |
| 4  | 希望が丘秋まつり                           | 秋を感じていただけるような出展コーナーを設置し、家族で秋を感じていただける機会を提供する。  | 9月<br>年間1回            | 500円以下       |
| 5  | ○共催事業<br>けんせつみらいフェスタ2024           | スポーツゾーンで重機の体験コーナーやステージコーナーを設け、建設の仕事を楽しみながら学ぶ場を提供する。  | 10月<br>年間1回           | 無料           |
| 6  | 秋の希望が丘魅力発信事業<br>「Oh! タムキッズのびのびランド」 | 文化ゾーンを中心に多数の体験プログラムコーナーを設け、秋の希望が丘の魅力(全園)を発信する。キッチンカーの出店も行う。  | 10月<br>年間1回           | 500円以下       |
| 7  | 希望が丘ふれあい祭                          | さわやかな秋の季節に、公園を訪れるきっかけとなるアトラクションを実施してにぎわいを創出し、当公園のPRを図り認知度を高める。   | 11月<br>年間1回           | 500円以下       |
| 8  | ○共催事業<br>よさこいソーランの競演 in 希望が丘文化公園   | よさこいのチームが各エリアをローテーションで演舞する。よさこいの醍醐味を演者も来園者も楽しんでいただく。   | 11月<br>年間1回           | 無料           |
| 9  | たこあげのつどい                           | 広大な芝生ランドを活かし、家族や仲間と凧作りを通してものづくりの楽しさを味わい、同時に伝承遊びを楽しむ場を提供する。   | 1月<br>年間1回            | 500円以下       |
| 10 | 希望が丘スプリングフェスティバル                   | 早春の時に、公園を訪れるきっかけとなるイベントを実施してにぎわいを創出し、当公園のPRを図るとともに認知度を高める。   | 3月<br>年間1回            | 500円以下       |
| 11 | 希望が丘交流ひろば                          | 広大な敷地を活用し、家庭の不用品を対象としたフリーマーケットを開催して「エコ」気運と高い開催ニーズに応えるとともに、にぎわいと憩いの場を創出する。                              | 5月・9月・11月・3月<br>年間10回 | 3,000円以下     |
| 12 | ○共催事業<br>湖国ハンドメイドフェスティバル           | 広大な芝生ランドで体験型のハンドメイドマルシェを出展する。公園の魅力発信とともにハンドメイドの楽しさを体験していただく。   | 3月<br>年間1回            | 3,000円以下     |
| 13 | ○共催事業<br>やまもりハプン希望が丘               | 公園の広大な敷地の中の文化ゾーンにおいて、関西在住の芸術家が集まり、散歩しながら芸術に出会える森を出現させ、文化的な要素を取り入れた自然体験の場を提供するとともに、当公園のPRを図り認知度を高める。    | 5月<br>年間1回            | 共催団体(モファ)が徴収 |
| 14 | 希望が丘書道展                            | 公益社団法人滋賀県書道協会と連携し書道を通じて小中学生に自然や仲間とのふれあいの大切さを学んでいただく機会とする。  | 審査8月<br>展示8月～10月      | 無料           |
| 15 | 希望が丘魅力発信事業                         | 各種SNSやHPによる情報発信や、半期毎のイベントガイド作成、全園事業の発信、CM放送等による広報とともに、各種イベントに出展するなどして公園の認知度と親和度を高める。                   | 通年                    | 500円以下       |
| 16 | 公園サポーター募集                          | ボランティア活動に意欲のある人材を募集し、参画と協働を促進するとともに公園活性化を図るとともに、新たに団体を対象とした仕組みづくりを進める。                                 | 通年<br>活動随時            | 無料           |

| 番号 | 事業名   | 事業内容  | 開催予定日                       | 参加費                        |
|----|---|---|-----------------------------|----------------------------|
| 17 | 希望が丘ハイキング   | 自然環境に恵まれた公園とその周辺地域を活用し、自然の中に身を置くことによる心身の健康増進の場を提供する。  | 4月・6月・10月・3月 年間4回           | 500円以下                     |
| 18 | 希望が丘スポーツフェスティバル   | 気軽にいろいろなスポーツを体験できる機会を提供し、身体を動かす楽しさや普段の体力を考える機会とする。家族で参加出来るイベントも同時開催し、スポーツの秋を楽しんでいただく。               | 9月 年間1回                     | 500円以下                     |
| 19 | 希望が丘ランニングスクール2025   | 陸上競技場でランニングの基本を学ぶとともに、親子でスポーツを楽しむ場を提供する。  | 1月 年間1回                     | 1,000円以下                   |
| 20 | 希望が丘カップ2024 グラウンド・ゴルフ大会<br>①月例会 ②グランドチャンピオン大会   | グラウンド・ゴルフを通して健康づくりや交流の場づくりの機会を提供する。   | ①4月～1月(年9回8月除く)<br>②3月(年1回) | 1,000円以下                   |
| 21 | ○共催事業<br>第37回滋賀県グラウンド・ゴルフ春季大会決勝大会<br>兼 2024年度滋賀県民総スポーツの祭典<br>滋賀県スポーツ・レクリエーション大会<br>兼 関西マスターズスポーツフェスティバル2024 | 常設コースを使用して滋賀県グラウンド・ゴルフ協会と開催し、生涯スポーツの振興、健康づくり、仲間づくりの場を提供する。  | 6月 年間1回                     | 共催団体(滋賀県グラウンド・ゴルフ協会)が徴収    |
| 22 | ○共催事業<br>第37回滋賀県グラウンド・ゴルフ秋季大会決勝大会<br>2024年度ねんりんピックびわこ・レイカディア県民大会  | 県内各地で予選を開催。決勝を常設コースを活かし、滋賀県グラウンド・ゴルフ協会と開催。生涯スポーツの振興、健康づくり、仲間づくりの場を提供する。                             | 10月 年間1回                    | 共催団体(滋賀県グラウンド・ゴルフ協会)が徴収    |
| 23 | ○共催事業<br>希望が丘トレイルランニングレース2024   | 広かつ安全な園内環境を最大限活かし、健康の保持増進や自然の大切さを深める場を提供する。   | 4月 年間1回                     | 共催団体(レース実行委員会)が徴収          |
| 24 | ○共催事業<br>滋賀県スポーツ少年団サッカー交流大会U-10<br>2024 in 希望が丘   | 滋賀県スポーツ少年団に登録している小学校4年生以下のチームを対象に8人制のサッカー大会を開催。スポーツを楽しみ、仲間との交流を深めることができる場を提供する。                     | 6月 年間1回                     | 共催団体(滋賀県スポーツ少年団)が徴収        |
| 25 | ○共催事業<br>滋賀県高等学校駅伝競走大会(男女)  | 滋賀県高等学校体育連盟に加盟する学校の生徒が、近畿大会・全国大会の出場を目指して競いあう全県規模の大会。青少年の体力増進と健全育成を目的とする。                            | 11月 年間1回                    | 共催団体(滋賀県高体連)が徴収            |
| 26 | ○共催事業<br>びわ湖駅伝スポーツフェスティバル2024   | 広かつ安全な園内環境を活かし、全国の市民ランナーやジョギング愛好者にも門戸を開いて、駅伝を楽しみ、健康の保持増進や交流を深める場を提供する。                              | 11月 年間1回                    | 共催団体(滋賀県スポーツ協会)が徴収         |
| 27 | 滋賀県中学生ベースボールフェスティバル<br>2024   | 中学生を対象に野球に関するイベントを実施し、日頃の練習の成果とベースボールの素晴らしさを再発見する機会とする。さらにイベントで出会った仲間たちと交流を深め、心も体も健やかに成長することを目的とする。 | 12月 年間1回                    | 2,000円以下                   |
| 28 | ○共催事業<br>BIWAKOクロカン2025<br>・第36回 全日本びわ湖クロスカントリー大会<br>・第10回全国中学生クロスカントリー選手権大会                                | 広かつ安全な園内環境を活かし、全国から集った選手による大会を開催し、中・長距離選手の強化・育成・発掘をおこなうとともに、相互の交流を深める場を提供する。                        | 2月 年間1回                     | 共催団体(京都新聞滋賀本社)が徴収          |
| 29 | 全国の仲間と深めよう 競いあおう<br>第14回びわ湖カップ なでしこサッカー大会<br>(U-12)   | 広大な芝生ランドを活かし、全国9地域から選ばれた少女サッカーチームによる大会を開催し、スポーツを楽しみ、仲間と交流を深める場を提供する。                                | 2月 年間1回                     | 15,000円以下                  |
| 30 | ○共催事業<br>滋賀県スポーツ少年団ラグビーフットボール大会   | 滋賀県内のラグビーの普及・競技力向上と、ラグビーを通じて小学生年代の心身の健全な育成に寄与する。  | 3月 年間1回                     | 共催団体(滋賀県ラグビー協会)が徴収         |
| 31 | ○共催事業<br>スポーツイベント「ほほえみスポーツ鬼ごっこ」   | 老若男女が誰もが気軽に取り組み、スポーツをすることで得ることができる喜びを、多くの方に感じてもらうことを目的に実施する。  | 3月 年間1回                     | 共催団体(NPO法人YASUIほほえみクラブ)が徴収 |
| 32 | ○共催事業<br>子どもびワイチ体験イベント  | 滋賀県観光交流局びワイチ推進室と協力し、来園者にサイクリングの楽しさ、びワイチの魅力を伝える。   | 5月・10月 年間2回                 | 無料                         |

スポーツ健康づくりの推進

| 番号 |                           | 事業名                                   | 事業内容  | 開催予定日                       | 参加費                  |
|----|---------------------------|---------------------------------------|---|-----------------------------|----------------------|
| 33 | スポーツ健康づくりの推進              | 希望が丘ディスクゴルフ大会2024                     | 滋賀県フライングディスクゴルフ協会と協働し、広大な敷地と常設コースを活用して、広域から参加者を募る大会を開催する。   | 9月<br>年間1回                  | 2,000円以下             |
| 34 |                           | ○共催事業<br>第26回日本オープンディスクゴルフトーナメント      | 日本ディスクゴルフ協会等と連携し、スポーツゾーンの広大なフィールドを活かしてプロ・アマチュアのトーナメント大会を開催し、競技普及と選手育成、生涯スポーツの振興を図る。                                   | 7月<br>年間1回                  | 共催団体(日本ディスクゴルフ協会)が徴収 |
| 35 | 社会教育・生涯学習の支援              | 希望が丘アウトドアスクール                         | 県内中・高等学校・大学・専門学校等と連携し、勤労体験やインターンシップを受け入れるとともに、学校や各種団体への体験活動指導を実践する。また、自然の中での遊びや自然体験プログラムを通して公園内外に関わらず野外活動や自然体験の指導を行う。 | 通年                          | 10,000円以下            |
| 36 |                           | クラフト&フィールドゲーム事業                       | 園内各ゾーンにおいて、来園者・利用者のニーズに応じて、各種体験プログラムを提供する。  | 通年                          | 1,000円以下             |
| 37 |                           | 森のメッセージ(文化ゾーン活性化事業)                   | 文化ゾーンの活性化として砂場や落ち葉プールの設置により子どもたちの楽しめる場づくりに取り組む。またディスクゴルフコースの18ホール化と発信、森の中の素材を活用した造形物の募集と展示を行う。                        | 10月～12月                     | 無料                   |
| 38 | 自然を体験し楽しみながら学ぶ場／宿泊体験・自然学習 | “きぼっこ体験事業”<br>ちびっこファミリー自然とあそぼう        | 家庭や地域において、子どもが人や自然と直接ふれあう経験が少なくなっている今日、自然や生きもの等への関心が芽生える年齢期の子どもとその家族を対象に、自然や美しいものに感動する心や子ども同士の交流を通して思いやりの心を育む機会を提供する。 | 4月・6月・9月<br>10月・11月<br>年間5回 | 500円以下               |
| 39 |                           | “きぼっこ体験事業”<br>希望が丘里山楽校                | 異年齢の子どもたちが共同生活・体験を通して、自主性・協調性を身に付けるとともに、自然とのふれあいや里山体験により、環境や生態系への気づきを得る場を提供する。  | 5月<br>年間1回                  | 8,000円以下             |
| 40 |                           | “きぼっこ体験事業”<br>希望が丘夏休み自然塾              | 小学3年生から6年生の児童が、専門家の指導のもとで植物や生きもの調査研究を行い、自然や環境への理解を深める場を提供する。  | 7月<br>年間1回                  | 25,000円以下            |
| 41 |                           | “きぼっこ体験事業”<br>希望が丘冬の里山楽校              | 冬の希望が丘で、異年齢の子どもたちが共同生活・体験を通して、自主性・協調性を身に付けるとともに、自然とのふれあいや里山体験により、環境や生態系への気づきを得る場を提供する。                                | 12月<br>年間1回                 | 8,000円以下             |
| 42 |                           | “きぼっこ体験事業”<br>希望が丘冬の林間スクール            | 冬の希望が丘で、子どもたちが生活体験や自然体験活動等を通して、自主性・協調性・社会性を身に付ける機会を提供する。  | 1月<br>年間1回                  | 8,000円以下             |
| 43 |                           | ○共催事業<br>第56回 滋賀県スポーツ少年大会             | 滋賀県スポーツ協会等と連携し、滋賀県下のスポーツ少年団員を対象に、スポーツ・文化学習・交流交歓等の活動や集団生活を通して心と身体を育て、団活動の活性化を図る。                                       | 8月<br>年間1回                  | 共催団体(滋賀県スポーツ協会)が徴収   |
| 44 |                           | ○共催事業<br>滋賀県スポーツ少年団<br>ジュニア・リーダーズスクール | 滋賀県スポーツ協会等と連携し、地域のスポーツ少年団活動でリーダー的な役割を担える人材の育成と将来へ向けた指導者育成を図る。   | 12月<br>年間1回                 | 共催団体(滋賀県スポーツ協会)が徴収   |
| 45 | 自然学習                      | 希望が丘自然観察会                             | 季節に応じたテーマを設定し、公園内を散策しながら自然観察を行い、自然や生態系への興味・関心を高める場を提供する。  | 4月・6月・10月・12月・3月<br>年間5回    | 500円以下               |

| 番号   | 事業名   | 事業内容   | 開催予定日               | 参加費                       |
|------|---|--|---------------------|---------------------------|
| 46   | “きぼっこ体験事業”<br>希望が丘アウトドアキッズキャンプ                      | 小学生の学年層(1～3年生)に応じたキャンププログラムにより、子どもたちの自然や野外活動への興味・関心を高め、自主性、協調性を身に付けることを目的とする。  | 6月<br>年間1回          | 10,000円以下                 |
| 47   | “きぼっこ体験事業”<br>希望が丘夏休みわんぱくキャンプ                       | 異年齢の子どもたちが、希望が丘の自然の中で6泊7日のキャンプを通して自主性・協調性を身に付けるとともに、克服体験や達成感によってたくましく成長することを目的とする。   | 8月<br>年間1回          | 20,000円以下                 |
| 48   | “きぼっこ体験事業”<br>希望が丘ちびっこキャンプ                          | 初心者でも安心して参加できるキャンプで、小学校低学年の児童を対象に、野外活動や共同生活を通して、自主性や協調性を身に付ける。   | 10月<br>年間1回         | 10,000円以下                 |
| 49   | “きぼっこ体験事業”<br>希望が丘わいわいクリスマスクッキング                    | 自然の中でのクリスマスプログラムを提供し、自然や野外活動への興味・関心を高め、家族の絆を深める場を提供する。   | 12月<br>年間1回         | 3,000円以下                  |
| 50   | “きぼっこ体験事業”<br>希望が丘春のプチキャンプ                          | 家族で体験するデイキャンプを通して、自然探究や野外活動への興味・関心を高め、創造力を豊かにする機会を提供する。  | 3月<br>年間1回          | 2,000円以下                  |
| 51   | ○共催事業<br>希望が丘ふれあいキャンプ<br>～病気の子どもたち・障がいのある子どもたちとともに～ | NPO法人多幸等と協働し、病気や障がいを持つ子どもたちとその家族が楽しくキャンプを行えるように支援し、自然や野外活動への興味・関心を高め、絆を深めることができる場を提供する。  | 4月・9月<br>年間2回       | 共催団体(NPO法人多幸)が徴収          |
| 52   | 希望が丘キャンプリーダー体験説明会                                   | 新規希望者を対象にキャンプ場利用者の対応や事業企画立案・運営に関わる基礎的な説明会を開催し、登録、全体研修会につなげていく。   | 4月<br>年間2回          | 1,000円以下                  |
| 53   | 希望が丘キャンプリーダー研修会                                     | キャンプリーダー登録者を対象に、公園の基本計画、将来像、ビジョンミッション等に基づいて、目標や目的の達成の認識の上、野外活動や自然体験に関する知識・技術の研修を行い、スキルアップを図ることにより、公園運営の一翼を担う人材を育成する。                       | 通年                  | 2,000円以下                  |
| 54   | 希望が丘ファミリーキャンプフェスタ                                   | 自然の中での野外活動を通して、日常では味わいにくい体験や感動を家族や仲間とわかちあえる場を提供する。   | 7月<br>年間1回          | 6,000円以下                  |
| 55   | ○共催事業<br>キャンプ活動の力                                   | 滋賀県キャンプ協会と協働し、キャンプ活動を通してライフスタイルを見つめ直し、コミュニケーションの大切さや生きる力に必要なスキルを学ぶ場を提供する。  | 10月<br>年間1回         | 共催団体(滋賀県キャンプ協会)が徴収        |
| 56   | ○共催事業<br>キャンプインストラクター養成講習会                          | 滋賀県キャンプ協会と協働し、日本キャンプ協会公認のインストラクター資格取得のための講習会を行い、キャンプ指導者の育成を図る。   | 11月<br>年間1回         | 共催団体(滋賀県キャンプ協会)が徴収        |
| 57   | ○共催事業<br>希望が丘トリートキャンプ<br>～引きこもりの人へのサポート～            | NPO法人多幸等と協働し、引きこもりの人が楽しくキャンプを行えるように支援し、自然や野外活動への興味・関心を高め、心身の健康を取り戻すことができる場を提供する。   | 11月<br>年間1回         | 共催団体(NPO法人多幸)が徴収          |
| 58   | ○共催事業<br>輝竜キャンプ                                     | 公益財団法人竜王町地域振興事業団と協働し、小学生を対象に、野外活動や共同生活を通して、自主性や協調性を身に付ける機会を提供する。   | 8月<br>年間1回          | 共催団体(公益財団法人竜王町地域振興事業団)が徴収 |
| 59   | 自主事業<br>フィールドアスレチック事業                               | 依藤太百足退治をモチーフに設置されたロープと丸太との遊具で遊びながら体力と健康づくりをする。36ポイントの他にお城ジャングル(9ポイント)、幼児コース(11ポイント)を開設。幼児から大人までの幅広い人々に、自然の中での体力の向上や家族サービス、校外学習の場としての役割を担う。 | 令和6年4月～7年3月<br>(通年) |                           |
| 60   | 自主事業<br>グラウンド・ゴルフ事業                                 | グラウンド・ゴルフ場は4コース32ホールで運営。自然豊かな公園の特性を生かし、子どもから高齢者まで誰でも楽しめる生涯スポーツの活性化の一翼を担うとともに、県民の健康増進を図るため実施する。   | 令和6年4月～7年3月<br>(通年) |                           |
| 後援事業 | 第32回全国中学校駅伝大会                                       | 中学校教育の一環としてわが国特有の駅伝文化を継承する機会を広く与え、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦を図る。   | 12月<br>年間1回         | 後援団体(日本陸上競技連盟)が徴収         |